

## (株)フェイガーとの協定締結式



↑ 協定書を交わした石崎社長(左)と小松町長(右)

広野町と(株)フェイガーとの包括的連携に関する協定締結式が2月16日(月)に開催されました。(株)フェイガー(本社:東京都)は、農業由来の温室効果ガス削減を手掛ける会社で、町と連携し、CO<sub>2</sub>削減量をクレジットとして国が認定する「Jクレジット」制度を利用した脱炭素型農業の普及促進を進めていきます。締結式には小松町長と石崎貴紘社長が出席し、協定書を取り交わしました。

## (株)二光製作所広野工場 落成式



↑ 落成式に出席した坂口吉昭社長(中央)と小松町長(左)

広野駅東側産業団地に進出した(株)二光製作所の広野工場が完成し、2月24日(火)に落成式が行われました。二光製作所は航空宇宙関連の精密板金加工などを手掛ける会社で、広野工場では、板金加工のほか溶接の技術者育成などを行う予定です。小松町長は落成式で、「坂口社長の熱意と情熱により進出が実現しました。広野を代表する企業、世界に羽ばたく企業となるよう応援していきたい。」と挨拶しました。

## 内堀知事が広野町来訪



↑ 学校給食を試食した内堀知事との意見交換の様子

内堀雅雄知事が2月17日(火)、広野町を訪れ、12月に完成した学校給食共同調理場(給食センター)を視察しました。内堀知事は、調理場の床などを乾燥した状態に保つ「ドライシステム」を導入した施設内を視察した後、小松町長や給食調理員の皆さんと一緒に学校給食を試食しました。内堀知事は「スタッフの皆さんの気配りが美味しい給食づくりに繋がっていると感じます。」と話しました。

## ふくしまスイーツフェスティバル



↑ イベントに参加した高校生とパティシエの皆さん

福島県の特産品を使ったスイーツが味わえる「ふくしまスイーツフェスティバル」が2月20日(金)から23日(月・祝)までの4日間、東京の代々木公園で開催されました。イベントでは、昨年8月に行われた「スイーツ甲子園ふくしまチャレンジカップ」で神村学園高校の生徒たちが考案し、広野町賞に輝いた広野産バナナを使ったパフェ『Lumiere(リュミエール)』が限定販売され、会場は多くの来場者で賑わいました。

## 広野町消防団つなぎ放水訓練



↑放水訓練を行う消防団員

広野町消防団は2月1日（日）、ひろの防災緑地周辺でつなぎ放水訓練を行いました。今回の訓練は、水利の確保が難しい場所での林野火災を想定し、消防車両をホースで繋いで放水する「中継送水」という方法で行われました。団員47人が参加し、全長1.6kmの距離を12台の消防車両で繋いで放水しました。訓練を通して火災や災害発生時の即応体制をあらためて確認しました。

## こども園豆まき会



↑鬼のお面を着けて豆まきする園児たち

2月3日（火）の節分に合わせて、広野こども園で豆まき会が行われました。0歳児から5歳児までの全学年の園児が参加して、友達や先生たちと楽しく交流しました。園長先生から節分のお話を聞いた園児たちは、自分たちで制作した可愛い鬼のお面や豆を入れる袋を身に着けてレクリエーションを楽しみました。鬼に変装した先生に豆を投げ、遊戯室を走り回りながら楽しい時間を過ごしました。

## 「奥州日之出の松」完成報告



↑小松町長に新酒の完成を報告した鈴木代表(左)

広野町産の特別栽培米コシヒカリを使用した、純米酒「奥州日之出の松」の完成報告会が2月19日（木）に行われました。広野町の地酒をつくる会の鈴木正範代表が役場を訪れて、小松町長に新酒の完成を報告しました。震災後に町民有志で造り始めた「奥州日之出の松」は今年で11年目を迎えました。新酒は2月20日（金）より、町内のイオンや酒屋などで販売が開始されています。

## 小名浜海星高校「みかんサイダー」完成報告



↑完成報告に訪れた小名浜海星高校の生徒たち

小名浜海星高校の生徒たちが作った「みかんサイダー」の完成報告が2月25日（水）に行われました。高校生たちは広野産みかんをPRするため、昨年12月に児童館の子どもたちと一緒にみかん狩りを行い、収穫したみかんを使って商品開発に取り組みました。小松町長に完成を報告した生徒たちは、役場ロビーで販売会を開き、サイダーやフルーツわたあめ、オリジナルコーヒーなどを販売して商品のPRを行いました。